

みてね展だより 第9号



2023年6月8日 発行

文責：アートでつなぐユニバーサルデザインの会

今のところ、コロナが落ち着いた様子で何よりです。皆様には無事にお過ごしのことと思います。

「第10回描いたよ！みてね展」の準備が進んでいます。ポスターも完成し、出番を待っています。今年も皆様からの作品をお待ちしています。みてね展を協賛援助くださっている方、後援してくださっている方、そしてご来場予定の方、ボランティア協力の方などの力で成功させたいと願っています。

2023年のみてね展 ポスター紹介！

令和5年10月15日(日)～10月29日(日)

須恵町立美術センター久我記念館

今年のポスターは「雪室だんらん」^{ゆきむろ}。いつもの狼と猫とインコに加え、ゲストとしてキツネとタヌキが登場。寒い冬を「雪室」の中で暖を取りゆっくりとした時の流れを満喫しています。

今年度も皆様の温かい作品の参加を心よりお待ちしております。宜しく願い申し上げます。



第10回のポスター（赤枠はありません）

みてね展実行委員会の様子



皆さん良くご存じの場所ですね！

節目となる10回記念を迎えるにあたり、初心に戻って活動の見直しを行っています。また10回記念としてささやかなプレゼントも準備することになっています。

「描いたよ！みてね展」の大きな活動テーマが、「参加者みんなで作りあげる展覧会」という点。他の展覧会との最大の違いです。一例として「美術館使用料の応分負担」をお願いしています。

一昨年の出展料収入は18,500円で会場借用費は17,500円で差し引き1,000円の黒字。昨年度の出展料収入は14,400円で会場借用費は18,750円で差し引き4,350円の赤字でした。作品提出者の方には会場借用費をご負担いただく事で運営がなっています。

展覧会開催のためには、他にポスターやはがき作製費等の諸経費が必要ですが、これらは須恵町管工事組合様や須恵町土木組合様の協賛金で賄わせて頂いています。本当にありがとうございます。お陰様で実行委員の手出しが大きく改善されただけでなく、新たな取り組みへの力となっています。「参加者みんなで作りあげる展覧会」という活動テーマに対してどれだけのことがやれているのかを実行委員会として見直しています。まだまだ不十分ですが10回目の節目を迎え、気持ちを新たにこのテーマの充実のために何ができるのかを模索してゆき、皆様にご提案していきたいと思っています。



久我美術館敷地内ですが、ご存じですか？

「みんなの個展」のあゆみ！ Vol.2（連載2回目）



「空を見上げて手を繋ぐ三人のこども」

作品を通じた出会いから、やわらかなまなざしが生まれ、ふところ深いコミュニティ作りのお手伝いができますようにという夢を描きながら、とにかく、仲間を募ってやってみました。お花屋さんにお花の絵、魚屋さんに魚の絵、素敵な作品が集まりました。商店街のお散歩マップを作って、どのお店にどんな絵が飾っているかを案内するチラシを作り、道ゆく人に配布しました。開催期間を終えて、協力して下さったお店の方にインタビューをさせていただくなどして、無事に搬出を終えました。

チャレンジすれば夢は形になるという、手応えは確かにありました。同時に準備やネットワークづくり、作品出展の呼びかけ、展示協力の依頼、搬入・搬出、振り返りといった一連の運営には、想像以上にたくさんの方々の力が必要でした。運営ノウハウは、正直、とても未熟でした。楽観的に言えば、それに気づくこともできたのも、やってみたからこそその学びだったと思います。このような「みんなが主役で、みんなで作る個展」を実現するには、「作品を描く人」「作品展示を応援する人」「作品を観る人」という3つの立場があると思います。このような3つの立場と協力を表現しようとしたのが、初期の「みんなの個展」の活動マークです。三人の子どもたちが手を繋いで輪になって空を見上げています。（さらに続く）

孔遠くん制作のネコちゃんがお嫁入！（ご依頼主 金田朋美さまからの喜びの声）



前回の『みてね展』で、先生の作品を拝見し一目でファンになりました。

どの作品もとても緻密で繊細で、ただ何もとも言えない暖かみが画面から伝わってきます。

是非、我家の愛猫を先生に描いて頂きたいと思いました。こちらの依頼を快諾して頂き、

猫を見に我家へ来られた際、先生にどんな絵にしたいか色味や構図や取り入れたいモチーフ等を尋ねられました。それに関しては、実際に猫を見て先生が感じられたままと作品にして欲しいと伝え、全てをお任せしました。

細かい要望をお伝えしなかった分、かえって難しい依頼になったかもしれません。どの様な作品になっているのかワクワクしながら完成を待ちました。

完成作品を拝見した時は、期待以上の仕上がりに感激して涙がでそうになりました。紫陽花・タンポポ・カタバミ・蓮、色とりどりの沢山のお花の真ん中に愛猫が佇んでいます。ハート形になっている紫陽花があったり、てんとう虫が遊んでいたりと、うっすらと空の向こうに虹がかかっていたりと、よく見なければ気付けない遊び心も満載です。

美しい画面全体から「今は愛されてて、これから先は沢山の幸せに包まれた猫」のメッセージが伝わってきます。（うちの愛猫は大人になってから我家に来た元保護猫です）

こんなに素敵な作品をありがとうございました。ずっと大切にさせていただきます。



皆様からの声を募集致します!! メール nowornever1202@gmail.com